

≫≫ お知らせ

「中央区まちかど展示館」に認定されました！

中央区では区内にある、地域の歴史の文化資料などを展示し、一般に公開している施設を「中央区まちかど展示館」として認定し、助成を行っています。当館も昨年9月6日に、この「まちかど展示館」に認定されましたが、このほどプレートを頂きましたので、図書館エントランスの看板に設置しました。



図書館エントランス

拡大図
ここに貼りました！

当館で所蔵している中央区の地域資料としては、主に中央区地域に多数あった劇場や映画館などのプログラムや外観写真などがあります。地域の人々にとって大変身近なものであったこれらの娯楽施設の中には、今はもう失われてしまった施設も多くありますが、当館の所蔵資料には、その在りし日の姿や歴史が伝わっています。今後、当館の所蔵資料が地域資料・郷土資料として活用される機会が増え、地域の文化活動に貢献できるよう願っています。

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 3月演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『壽曾我対面』	○			
	『身替座禅』	○			
	『恋飛脚大和往来 封印切』	○			
	『二人藤娘』			○	○
	『盲長屋梅加賀鳶 加賀鳶』	○			
	『勸進帳』	○			
	『日本振袖始 大蛇退治』	○			
新橋演舞場	『空ヲ刻ム者 若き仏師の物語』		○	○	○
南座(京都)	『吹雪峠』	○			
	『素襖落』	○			
	『与話情浮名横櫛 見染め・源氏店』	○		○	○
	『御撰勸進帳 暫・芋洗い勸進帳』	○			
松竹座(大阪)	春休み関西ジャニーズJr. スペシャルコンサート	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『劇場版 プリティーリズム・オールスターセレクション プリズムショー☆ベストテン』	○		○		
『ウルトラマンギンガ 劇場スペシャル ウルトラ怪獣☆ヒーロー大乱戦!』	○		○		
『グランドシネマ 坂東玉三郎 日本橋』	○		○		
『白ゆき姫殺人事件』	○	○	○		○
『THE NEXT GENERATION バトレイバー 第一章』	○	○	○		

■ 映画プログラム ■

『ロボコップ』 『あなたを抱きしめる日まで』
 『LEGOムービー』 『リベンジ・マッチ』

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 他社演劇公演資料 ■

あうるすぽっと	2月	文学座『尺には尺を』 『お気に召すまま』プログラム、台本
青山円形劇場	2月	『CAVA's BARBER その床屋を待たせた客』プログラム
近鉄アート館	2月	『近鉄アート館劇場開き 片岡愛之助特別公演』プログラム
国立劇場小劇場	2月	『第一八六回 文楽公演』プログラム、床本
国立劇場大劇場	3月	『菅原伝手習鑑 車引』『處女翫浮名横櫛 切られお富』プログラム
国立劇場大劇場	2月	第七四回雅楽公演『舞楽』プログラム
シアタークリエ	2月	『Paco パコと魔法の絵本』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	3月	東京文化発信プロジェクト『おそるべき親たち』プログラム
日生劇場	2月	ジャニーズWEST『なにわ侍 ハローTOKYO!!』プログラム
博多座	3月	『滝沢歌舞伎2014』プログラム、ポスター
本多劇場	3月	劇団東演『ハムレット』プログラム
明治座	3月	欽ちゃん奮闘公演『ほめんなほれんなとめんな』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『アート・リサーチ』2014年3月(14号)	『歌舞伎 研究と批評』2014年(51)
『あぜくら』平成26年3月号	『喝采』2014年6月,7月,7月特別号
『舞台芸術通信PROBE』2014年2月8号	『メセナnote』2014年80号
『Confetti』2014年APRIL Vol.112	『ミュージカル』2014年3月-4月号
『伝統文化新聞』2014年(94号)	『日本芸術文化振興会ニュース』平成26年4月号
『演劇ぶっく』2014年4月号	『日本照明家協会誌』2014年3月号
『演劇映像学連携研究拠点ニューズレター』	『日本舞踊』66巻4月号
2014 February(4号)	『O I S T A T日本センターNEWS』
『演劇界』2014年5月号	2014 JANUARY Vol.10
『演劇研究』2013年37号	『ラ・アルプ』2014年4月号
『演劇博物館』2014年Vol.110	『SAKURA TIMES』Vol.19
『悲劇喜劇』2014年4月号	『SePT倶楽部 information』
『ひろば』2014年129号	2014年1月号
『邦楽の友』平成26年4月号	『シアターガイド』2014年5月号
『ほうおう』2014年4月号,5月号	『テアトロ』2014年4月号
『ジ・アトレ』2014年2月	『ヨーロッパ通信』2013年9月(11号)
『ジョイン』2014 Mar. No.80	

(新規登録資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

- | | |
|----------------------------|---|
| 『ドラマ』2014年4月号 | 『シネ・フロント』2014年3月号 |
| 『映画テレビ技術』2014年4月号 | 『シネフェックス』2014年No.32 |
| 『映画学』2013年27号 | 『松竹(社報)』2014年(180号) |
| 『映画時報』2014年3月号 | 『TVガイド』2013年1/18号,1/25号,2/1号,2/8号,2/15号,2/22号,3/1号,3/8号,3/15号,3/22号,3/29号,4/5号,4/12号,4/19号,4/26号,5/3号,5/10号,5/17号,5/24号,5/31号,6/7号,6/14号,6/21号,6/28号,7/5号,7/12号,7/19号,7/26号,8/2号,8/9号,8/16号 |
| 『映画秘宝』2014年5月号 | 『ザ・テレビジョン』2013年-1/18号,1/25号,2/1号,2/8号,2/15号,2/22号,3/1号,3/8号,3/15号,3/22号,3/29号,4/5号,4/12号,4/19号,4/26号,5/3号,5/10号,5/17号,5/24号,5/31号,6/7号,6/14号,6/21号,6/28号,7/5号,7/12号,7/19号,7/26号,8/2号,8/9号,8/16号 |
| 『映画論叢』2014年(35号) | |
| 『衛星劇場プログラムガイド』2014年3月号,4月号 | |
| 『キネマ旬報』2014年4月上旬号,4月下旬号 | |
| 『NFCカレンダー』2014年4月-5月号 | |
| 『日経エンタテインメント!』2014年4月号 | |
| 『立教映像身体学研究』2号 | |
| 『ロケーションジャパン』2014年4月号 | |
| 『SCREEN』2014年5月号 | |
| 『シナリオ』2014年5月号 | |
| 『シナリオ教室』2014年4月号 | |

■ 書籍 ■

- | | |
|--|--|
| 『満州の記録 満映フィルムに映された満州』 | 集英社 |
| 『Artists of Praemium Imperiale 1989-2013 [高松宮殿下記念世界文化賞]』 | 日本美術協会 |
| 『初日への手紙「東京裁判三部作」のできるまで』 | 井上ひさし(著) 白水社 |
| 『エノケン喜劇のドラマツルギー 榎本健一と菊谷栄が見た夢』 | 平島高文(著)、原健太郎(編)、国立劇場調査養成部(編) 日本芸術文化振興会 |
| 『生誕110年 林芙美子展 風も吹くなり雲も光るなり』 | 小野恵+中西由紀子(編) 北九州市立文学館 [等] |

≫≫ 資料提供 (2014年2月~2014年3月) ※許可を得た方のみ掲載しております

展示

- 歌舞伎座ギャラリー「歌舞伎 冬景色から早春へ」 2013年12月12日より2014年3月2日
第4期歌舞伎座の毎年12月・1月・2月歌舞伎公演の筋書の表紙画像と、戦前筋書の挿絵4カットを展示に使用

プログラム掲載

- 「新橋演舞場2月公演『母をたずねて膝栗毛』」2014年2月5日より25日新橋演舞場
昭和23年5月・同12月中座筋書の表紙と、『うるさき人々』昭和3年4月中座上演のスチール写真を公演プログラムの記事に提供
- 「二月博多座大歌舞伎」2014年2月2日より25日博多座
『廓文章』大正2年11月新富座上演と、初代中村鴈治郎『河庄』のスチール写真を公演プログラムの記事に提供
- 「鳳凰祭三月大歌舞伎」「鳳凰祭四月大歌舞伎」2014年3月2日より26日/4月2日より26日歌舞伎座
大正14年より昭和8年までの歌舞伎座筋書表紙の鳳凰図版9点を、チラシとポスターのデザインに使用

DVD関連

- 「NHKスペシャル 新生歌舞伎座 檜舞台にかける男たち」2014年2月21日発売 NHKエンタプライズ
歌舞伎映画『勸進帳』弁慶の映像の一部を使用(2013年5月5日に放送した番組のDVD化)

その他

- 「麻布達人倶楽部修了式研究発表」2014年3月15日 麻布区民ホール
大正12年11月麻布南座の番組(パンフレット)をスライド上映に提供

第4 2回松竹大谷図書館所蔵資料展示

「中村登監督」展

展示期間：2014年3月31日～4月23日
於 閲覧室

昨年の2013年は、松竹を支えた名匠であり、中村登監督の生誕100年でした。これまで「女性映画の巨匠」「松竹大船調の継承者」として語られることの多かった中村登監督ですが、実際に監督作品を辿ってみますと、喜劇、文芸、メロドラマ、年代記など、多くの作品を撮っていたことがわかります。「キネマ旬報」1967年3月上旬号(434号)に掲載されている対談で、「第一級の職人になりたいというような意識は持っていたかもしれない。」と監督自身が語っているように、職人監督としてあらゆる要求に応えることができた監督であったともいえます。

今回は多彩なジャンルにまたがるよう、代表的な作品を取り上げて、所蔵資料を展示しました。

中村登監督は、1913年8月4日東京下谷区に生まれ、1936年東京大学英文科卒業後、助監督試験を受けて松竹に入社しました。大船撮影所で斎藤寅次郎、島津保次郎らに師事し、1941年監督に昇進、文化映画『生活とリズム』を演出した同年、吉村公三郎が監督昇進を祝して原作を書き下ろした『結婚の理想』で劇映画監督としてデビューします。爆笑王シミキンこと清水金一、歌手の灰田勝彦、二枚目俳優鶴田浩二が仲良し三人組に扮し、同じ女性に恋をする喜劇『恋愛三羽鳥』(1949年)のほか20近くの作品を監督し、山田五十鈴が初めて松竹大船映画に出演したことでも話題になった、松竹大船伝統のホームドラマ『我が家は楽し』(1951年)で評価を得ます。そして、木下恵介監督の日本初のカラー映画『カルメン故郷に帰る』に続いて製作された、松竹第2回目のカラー映画である『夏子の冒険』(1953年)を監督し、この北海道の大自然を背景に男女のロマンを描いた作品を経て、第一線監督へと踏み出してゆきます。

その後、歌舞伎俳優が出演した『江戸の夕映』(1954年)や『修禪寺物語』(1955年)を監督した後、原作の映画化である『白い魔魚』(1956年)、『土砂降り』(1957年)、『集金旅行』(1957年)、『日目の背信』(1958年)などの文芸作品を生み出します。このうち軽妙な娯楽映画の『集金旅行』は、「旅行シリーズ」として(『危険旅行』『求人旅行』)、順次製作されました。

また、1960年代前半には小津安二郎が逝去し、木下恵介や小林正樹など名立たる監督たちが松竹を退社する、という事態が起こりますが、中村登監督は松竹に留まり作品を作り続けます。1963年に川端康成原作の『古都』を発表。岩下志麻が双子の姉妹を二役で演じたことも注目を集め、京都の四季折々の美しい風景とともに人の心の移り変わりが描かれたこの作品は、第36回アカデミー外国映画賞にノミネートされるという快挙を成し遂げました。

1964年には、『古都』の脚本家権藤利英、撮影監督成島東一郎とともに、当時作られ始めた暴力や性の作品に抵抗して製作した『夜の片鱗』を送り出します。ヤクザに騙され娼婦へ転落する女工を演じた桑野みゆきは、この作品で清純派女優から脱して大人の魅力を開花させました。

そして、有吉佐和子の大河小説を映画化した『紀ノ川 花の巻・文緒の巻』(1966年)では、紀州和歌山に流れる紀ノ川を舞台に、明治・大正・昭和にわたる女性の生き様を、大自然のなかに溶け込むようなロマンあふれる演出で描き出します。当時の新聞記事には、原作発表時の1959年に監督自身が映画化の権利を取得し、映画化までの6年の間に、原作を暗記するまで読み返し、初版本がボロボロになった話が掲載されています。

1967年には高村光太郎とその妻智恵子の夫婦愛を描いた『智恵子抄』を監督し、精神に異常をきたしていく妻を見守る夫の苦悩とともに、ふたりの美しくもはかない愛の物語が抒情的に展開され、この作品で再び第40回アカデミー外国映画賞にノミネートされます。

中村登監督は、『暖春』(1965年)、『惜春』(1967年)など他の作品でも、女性の美しさや強さを描き、女優の魅力を存分に引き出した映画を製作しており、この時期の一連の作品によって、女性映画の巨匠としての名が確立されていったともいえます。

遺作は『日蓮』(1979年)で、古代王朝から新興武士への政権



(左)『夜の片鱗』台本
表紙に2匹の魚のイラストがある。
(右)『紀ノ川』台本
水を湛えて流れる川がデザインされている。

移動がなされつつあった激動の時代に、波乱に富んだ生涯を送った日蓮の物語を、萬屋錦之介の主演で描きました。日中合作映画『未完の対局』準備中に病のため倒れ、1981年5月20日逝去。67歳でした。

また、中村登監督生誕100年を記念して、昨年から各地で作品の上映が続いております。

昨年の9月に第70回ベネチア国際映画祭クラシック部門で『夜の片鱗』の上映、昨年11月には第14回東京フィルメックスで特集上映として「生誕100年 中村登」が行われ、本年2月には第64回ベルリン国際映画祭の国際フォーラム部門で『我が家は楽し』『土砂降り』『夜の片鱗』の3作品が特集上映されました。3月にロンドンの「The Asia House Pan-Asia Film Festival 2014」で『夜の片鱗』上映され、4月にも香港国際映画祭で上映される予定です。『夜の片鱗』は6月7日にDVD発売されることが決定しており、生誕100年を機に、改めて注目を集めている監督です。

◆展示資料一覧◆

中村登監督ポートレート ●スチール

『結婚の理想』(1941年) ●スチール

監督:中村登、脚色:武井韶平、原作:吉村公三郎、出演:三宅邦子・三原純・斎藤達雄

『恋愛三羽鳥』(1949年) ●スチール

監督:中村登、脚本:斎藤良輔・中山隆三、出演:灰田勝彦・鶴田浩二・清水金一

『我が家は楽し』(1951年) ●プレスシート

監督:中村登、脚本:柳井隆雄・田中澄江、原案:田中澄江、出演:山田五十鈴・高峰秀子・岸恵子

『夏子の冒険』(1953年) ●プレスシート

監督:中村登、脚色:山内久、原作:三島由紀夫、出演:若原雅夫・角梨枝子・高橋貞二

『江戸の夕映』(1954年) ●プレスシート、スチール

監督:中村登、脚色:久板栄二郎、原作:大佛次郎

出演:市川海老蔵-9世(市川團十郎-11世)・市川左團次-3世・淡島千景

『修禪寺物語』(1955年) ●プレスシート

監督:中村登、脚色:八住利雄、原作:岡本綺堂、出演:高橋貞二・淡島千景・坂東蓑助-6世(坂東三津五郎-8世)

『白い魔魚』(1956年) ●プログラム

監督:中村登、脚色:松山善三、原作:舟橋聖一、出演:有馬稲子・石浜朗・高峰三枝子

『土砂降り』(1957年) ●スチール

監督:中村登、脚色:椎名利夫・中村登、原作:北条秀司、出演:佐田啓二・岡田茉莉子・田村正巳

『集金旅行』(1957年) ●スチール

監督:中村登、脚色:椎名利夫、原作:井伏鱒二、出演:佐田啓二・岡田茉莉子・伊藤雄之助

『日日の背信』(1958年) ●スチール

監督:中村登、脚色:斎藤良輔、原作:丹羽文雄、出演:佐田啓二・岡田茉莉子・伊藤雄之助

『古都』(1963年) ●プレスシート[英語表記]

監督:中村登、脚色:権藤利英、原作:川端康成、出演:岩下志麻・吉田輝雄・早川保

『夜の片鱗』(1964年) ●台本、スチール

監督:中村登、脚本:権藤利英、原作:太田経子、出演:桑野みゆき・園井啓介・菅原文太

『紀ノ川 花の巻・文緒の巻』(1966年) ●台本、スチール

監督:中村登、脚本:久板栄二郎、原作:有吉佐和子、出演:司葉子・岩下志麻・有川由紀

『智恵子抄』(1967年) ●プログラム

監督:中村登、脚本:広瀬襄・中村登、原作:高村光太郎・佐藤春夫、出演:岩下志麻・丹波哲郎・平幹二郎

『日蓮』(1979年) ●プログラム

監督・脚本:中村登、原作:川口松太郎、出演:萬屋錦之介・伊藤洋一・田村高廣

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2014（平成26）年3月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

公益財団法人 昭和池田記念財団

どうもありがとうございます

■ ゴールデンウィーク中の

休館のお知らせ

平成26年のゴールデンウィーク中は

4月29日（火）休館

4月30日（水）開館

5月1日（木）休館

5月2日（金）開館

5月3日（土）～6日（火）休館

7日（水）より通常どおり

開館いたします

となります

■ 編集後記

▼3月で退職いたしました須貝前主任の後を継いで、4月より武藤祥子が事務局を担当することになりました。

何かと不慣れで、不行き届きの点も多いと思いますが、新しく司書も入りまして、また職員全員で頑張っておりますので、これからもどうぞ皆様のお力添えを、よろしくお願い申し上げます。

▼この4月から職員となりました。一日でも早く皆様のお役に立てるように頑張ります。どうぞよろしく願っています。

(K)



● 利用案内

● 開館時間

平日午前10時～午後5時

● 休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

● 閲覧 館内閲覧のみ

● 入館料 無料

● 交通案内

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分

東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分